

作品を制作する美大生らと話す実行委のメンバー＝黒部市宇奈月温泉で



# 芸術品あふれる街に

黒部市の宇奈月温泉街に美術大生らの作品を展示するまちかどアート「ストリートギャラリー宇奈月」が、観光シーズン到来を告げる四月二十日のトロッコ電車の部分開通に合わせて企画されている。現在は五人が作品の制作中。二〇一五年春の北陸新幹線開業をにらんで、アートのまちづくりを目指す。(高橋恒夫)

## トロッコ開通の来月20日

東京の多摩美術大などの現役学生や卒業生ら「芸術家の卵」に制作・発表の場を提供し、作品の販売で経済的支援も予定する。宇奈月温泉は昔から画家の描いた作品が展示され

るなど芸術と縁が深い土地柄。

川端康夫・黒部商工会議所会頭、宇奈月温泉でホテルなどを経営する安藤建二さん、黒部市内でニートの自立支援をしているNPO法人「教育研究所」所長の牟田武生さんが二年前から計画。このほど「アートのまち宇奈月実行委員会」を設立した。

美大生ら五人が絵画や立体造形、空間演出など各自のテーマや手法で制作した作品を、セレネから富山地方鉄道宇奈月温泉駅までの温泉街の屋内外に展示する。東京造形大卒の合田知世さん(三巴)は「普段は海をテーマに制作しているが、宇奈月に来て強く感じた水とつながれた作品を考えている」と話した。

川端会頭は「美大生は卒業しても生計を立てるのは難しい。若いアーティストに、創作の場となる共通のアトリエや、空き店舗を活用した展示場を提供したい」と述べた。

## 宇奈月温泉街 まちかどアートを企画